

リサーチセンターの紹介

早稲田大学ふくしま浜通り未来創造リサーチセンターは、国際社会が取り組む持続可能な開発目標（SDGs）等も踏まえ、福島に根ざした持続可能な開発課題に対する学術調査研究を通じて、世界のモデルとなる持続可能な地域再生のあり方を福島の皆さんとともに考えます。本リサーチセンターの名称は「ふくしま浜通り未来創造リサーチセンター」としましたが、福島県浜通り地域を中心とした福島復興に関する学術研究拠点として機能すべく、その中核を福島県広野町に置き、周辺市町村や各種団体・組織などとともに地域社会の持続可能な未来を共に考え、共に創っていきたくと考えています。

リサーチセンターのミッション

広域的かつ長期的な観点から福島の復興と廃炉のあり方を、地域社会の人々と共に議論し、共に考え、持続可能な福島浜通り地域社会の再生について、日本社会や世界に提案し、発信し、実践していくということです。

主な研究プロジェクト

（公財）福島イノベーション・コースト構想推進機構 大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業
「福島社会イノベーション創造事業」

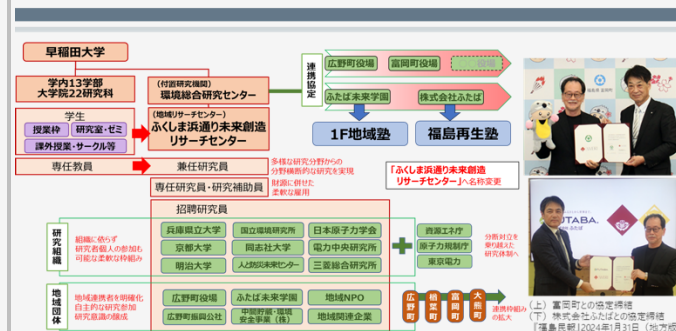
事業の目的

福島における復興と廃炉に関する調査研究を、地域の皆さんと多様な専門家とが協働して実施し、長期的・広域的な観点から復興と廃炉の将来像の選択肢を広く社会へ提案する。このことを通じて、2050年に持続可能な福島浜通り地域社会の形成を目標とした社会イノベーション（社会変革）を創造し、日本社会の再生を実現する。

市町村/各種団体との連携体制の構築

- ・ 広野町・富岡町とともに浜通りの長期的・広域的観点からの復興の横展開
- ・ 双葉地方町村会および被災15市町村など周辺自治体との連携
- ・ 研究会メンバーの所属機関やふたば未来学園、地域団体との連携

連携体制



めざすべき人材像と人材育成目標

- 福島の教訓を踏まえて、継続的に福島の課題を「自分ごと」ととらえ、科学技術と社会の関わりについてのイノベーションを起こす人材を育成する。
- トランスサイエンスを対象とした対話の実践、自分ごと化のプロセスを重視する。
- ①～③のカリキュラム連携により、一貫した「ふるさと創造」への思いを持続的な学びに活かすプラットフォームを構築する。

基本情報

開所：2017年5月

場所：福島県広野町

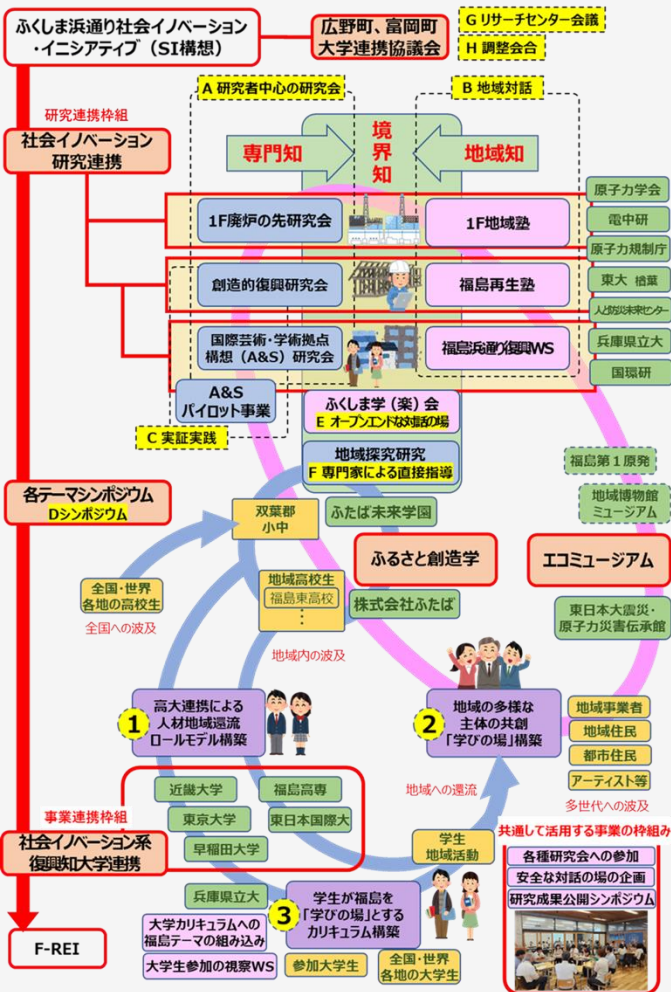
HP：<https://prj-matsuoka311.waseda.jp/hironoRC.html>



※ メンバーリスト、主要研究成果、出版物などは、上記のリサーチセンターHPをご参照ください。

E-mail：smatsu@waseda.jp
（@を半角英数字に直してご送付ください）

福島社会イノベーション創造事業の概念図



- 「ふるさと創造学」のプラットフォームを継続運営するため、地域における課題解決研究を維持し、そこへ高校生や様々な世代が参加する対話の場、学びの場（Learning Communityを維持・継続（「1F地域塾」「福島再生塾」））。
- 復興知事業終了後、上記の2つの塾について、連携関係を構築した「ふたば未来学園U」(株式会社ふたば)の予算として確保することで持続的な運営をめざす。